

年間指導計画表

教科・科目	地歴科・地理研究	単位数	4単位
		学科・学年・学級	普通科・3年・文系

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	①教科書：帝国書院『新詳地理B』 帝国書院『新詳高等地図』 ②資料集：東京法令出版『新編地理資料 2017』 二宮書店『データブック オブ ザ ワールド』

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出	20%
b. 思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	10%
c. 技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・課題提出 ・ノート提出	10%
d. 知識・理解	現代世界の地理的な象から課題を見いだ諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	60%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	40	《現代世界の地誌的考察》 【現代世界の地域区分】 ●地域区分とは何か  【現代世界の諸地域】 ●東アジア	○現代世界の系統地理的な特徴を、地域的な枠組みから検討するために、自然や政治、経済、文化などの指標によって様々な地域区分をすることができるようにする。 ○中国に関する学習課題を見出し、中国の急激な成長の理由と影響について地誌的に考察し、その過程や結果を整理できる。	○		○	
	5		●東南アジア	○中国の地域的特色や地球的課題、ほかの事象と有機的に関連付けて地誌的に考察する方法を理解し、その知識を身につける。		○		○
	6		●南アジア  ●西アジア・中央アジア 〈第1回考査〉	○東南アジアの諸国がASEANとしてまとまりを持った地域であることを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果をまとめたりすることが出来る。  ○インドに関する提示された諸資料から有用な情報を選択し読み取る。 ○北アフリカ・西アジア・中央アジアに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し捉えようとする。			○	○



学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d			
前期 / 後期	7	32	●北アフリカとサハラ以南のアフリカ	○北・中・南アフリカに関する学習課題を見出し、地球的課題について地誌的に考察し、課題やその解決法について自分の考えを論述していく。 ○ヨーロッパに関する学習課題を見出し、地域的特色や人口問題などについて地誌的に考察し、その結果について整理する。  ○CISの中心的な国であるロシアやCISに加盟していない国々(バルト3国やジョージア)に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり、読み取ったりする。 ○北アメリカに関する学習課題を見出し、地域にみられる特色や生活水準の格差などについて地誌的に考察し、その結果について整理する。  ○ラテンアメリカに関する学習課題を見出し、地球的課題について地誌的に考察し、課題やその解決法について自分の考えを論述していく。 ○オセアニアに関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択したり、読み取ったりする。  ○現代世界における日本の国土の特色や我が国が抱える地理的な諸課題を基に、現代世界における日本の国土に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求する。	○	○	○	○			
	8		●ヨーロッパ		○	○	○				
	9		●ロシア		○	○	○				
	10		●アングロアメリカ 〈第2回考査〉		○	○	○				
			●ラテンアメリカ		○	○	○				
	11		●オセアニア		○	○	○				
	12		【現代世界と日本】 ●日本が抱える地理的な諸課題 ●日本の抱える課題の追求 〈第3回考査〉		○	○	○				
	後期		1		40	ここまでの授業内容の復習	これまでの学習内容を復習し理解の定着を図る	○	○		○
			2					○	○		○